



がいぎかい

令和4年1月25日発行
★議会活動をわかりやすくお伝えします



今月の見どころ

【特集】輝く仲間たち	2ページ
令和3年 第4回定例会・第3回臨時会	4ページ
こんなことが決まりました	5ページ
ここが聞きたい代表質問	8ページ
ここが聞きたい一般質問	12ページ
当初予算の要望書を市長へ提出	14ページ

コロナを乗り越える 甲斐市議会



緑と活力あふれる生活快適都市

特集 輝く仲間たち (第8回)

毎回、市内で頑張る方々に登場していただきます。
今回は、「甲斐てき朝市の会」です。

コロナ禍でも開催しています

「目指せ!!
竜王駅前での発展と活性化!!」

これまでの経緯

竜王駅前の朝市については平成21年3月に有志により、結成された「まちおこし推進委員会」により、駅前不動産の駐車場でスタートしました。その後、竜王駅魅力発信協議会からの共同開催の申し入れを受け、平成29年5月から竜王駅南口駅前広場で開催する運びとなりました。最初は数店でしたが、回を重ねるごとに、新規出店の希望者も増えたことから、来場者も増えていき、令和元年5月にまちおこし推進委員会が中心になり、「甲斐てき朝市の会」を発足しました。

会の発足により、これまで以上に竜王駅前の魅力を発信するとともに、地域の活性化に努めております。

今では開始時間を変更し、来場者が訪れやすくなるような工夫を重ねています。



甲斐てき朝市の会 穴水会長



発足当時のメンバー



発足当時の様子

現在の様子

甲斐てき朝市は、新型コロナウイルスの感染防止対策に万全を期し、開催しております。

現在の会員数60店舗で毎月40店舗以上が出店しており、南北広場の端から端まで出店していただいている状況です。

各店舗では地元野菜、手作りの惣菜、雑貨、マッサージ体験と幅広い内容となっており、開始時間になると人気店舗の前には行列ができるほど大盛況です。また地元農林高校の出店や地域で活動している音楽団体の出演など、朝市を盛り上げる取り組みもあり、賑やかで、地域の温かみを感じることでできる朝市となっており、竜王駅を中心に周辺自治会などの活性化に繋がっています。



今後の展望 (穴水会長談)

今後の展望については、現在のコロナ禍により、なかなか運営に苦慮するところがありますが、現在の会員数60店舗から80店舗位まで増やして行きたいと考えております。

私が望むのは、あくまでも竜王駅前の発展と活性化です。もう少しで手の届くところまでできておりますが、ここからだと思います。皆様のご協力のもとで成り立っておりますので、今後とも応援の程宜しくお願い致します。

なお、新たな取り組みとして、「竜王駅光のマルシェ」を開催しました。



12月17日に開催された「竜王駅光のマルシェ」の様子

開催情報

竜王駅前 甲斐てき朝市

日時：毎月第2日曜日 午前9時～11時

令和3年 第4回定例会

定例会の あらまし

第4回定例会は、12月10日から21日までの12日間の会期で開かれ、市長から条例改正および補正予算などの27議案が提出されました。
今定例会の一般会計の補正予算は、29億4,781万1千円の増額となり、新型コロナワクチンの3回目接種に係る経費や子育て世帯への臨時特別給付金などの予算で、全て原案どおり可決されました。また、7会派の代表質問、4人の議員が一般質問を行いました。

人権擁護委員候補者の推薦

任期満了(令和4年3月31日)に伴い、次の方の推薦に対し、同意しました。(※敬称略)

・石川清美(再任)

意見書を提出

第4回定例会において、請願を採択したことに伴い、意見書を可決し、国へ提出しました。

件名	送付先
加配定数の振り替えによらない小学校35人学級の実施、中学校での35人学級の実施、教職員定数改善、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための意見書	内閣総理大臣、衆議院議長、参議院議長、文部科学大臣、財務大臣、総務大臣
「適格請求書等保存方式(インボイス制度)」について、シルバー人材センター事業に及ぼす影響が極めて大きいことから、安定的な事業運営が可能となる適切な措置を講じるための意見書	内閣総理大臣、衆議院議長、参議院議長、財務大臣、経済産業大臣

令和3年 第3回臨時会

臨時会の あらまし

第3回臨時会は、11月29日の1日間の会期で開かれ、市長から条例改正および補正予算などの13議案が提出されました。
今臨時会の一般会計の補正予算は、3,443万3千円の減額となり、人事院勧告等に伴う人件費の予算で、全て原案どおり可決されました。

甲斐市議会だより(かいギカイ)では、第4回定例会および第3回臨時会の主な内容をピックアップして、掲載していますのでご覧ください。また、議会ホームページで録画映像を配信していますので、こちらもぜひご視聴ください。



第3回臨時会(11月29日)および第4回定例会(12月10日から21日)において

甲斐市のこんなことが決まりました

主な内容をピックアップしてお知らせします。

職員等の期末手当を引き下げ

議案第64号 甲斐市議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正
議案第65号 甲斐市の市長等の給与等に関する条例の一部改正
議案第66号 甲斐市職員給与条例の一部改正
議案第67号 甲斐市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正

10月の人事院および県人事委員会からの給与勧告に伴い、職員の期末手当について、年間支給月数の0.15月分を引き下げます。併せて、市長等の特別職、市議会議員および会計年度任用職員についても、期末手当の引き下げを行います。

甲斐市職員給与条例の一部改正について討論がありました

反対討論

谷口和男 議員

人事院勧告にならった形での、2年連続の引下げは取りやめるべきである。第一の理由は、市職員は通常業務に加え、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種事業などに、平日の時間外や土・日など献身的に働いている。第二の理由は、コロナ禍で落ち込んだ景気を回復させ、暮らしを立て直すためには、所得を増やす必要がある。民間でも大企業中心に一時金の増加が予定されているなか、公務員の一時金減額は、コロナ禍からの復活に悪影響を与える。第三の理由は、本年の人事院勧告については、国も国家公務員の一時金減額を先送りしたことから、地方公共団体も人事院勧告をそのまま鵜呑みにせず、引き下げを見送ることが可能なはずである。以上の理由から条例の一部改正には反対である。

こども医療費・重度心身障がい者医療費の窓口無料を4月から18歳まで拡充

議案第81号 甲斐市こども医療費助成金支給条例の一部改正の件
議案第85号 甲斐市重度心身障がい者医療費助成条例の一部改正の件

これまで、こども医療費は小学生まで(12歳)、重度心身障がい者医療費(重度医療)は中学生まで(15歳)が窓口無料となっていました。令和4年4月1日から、18歳(18歳に達する日以後の最初の3月31日)までの医療費が窓口無料になります。

		令和4年3月31日まで	令和4年4月1日から
こども医療費	小学生まで(0~12歳)	入院・通院窓口無料	入院・通院窓口無料
	中学生(13~15歳)	入院・通院償還払い	
	高校生世代(16~18歳)	入院のみ償還払い	
障がい者医療費	小学生まで(0~12歳)	入院・通院窓口無料	入院・通院窓口無料
	中学生(13~15歳)		
	高校生世代(16~18歳)	入院・通院自動還付	

新型コロナワクチンの3回目接種を開始

議案第91号 令和3年度甲斐市一般会計補正予算(第7号)

3回目を接種する人は、18歳以上の方で、2回目の接種から原則8か月を経過した全ての住民が対象となります。(医療従事者や高齢者など、一部の対象者は接種間隔が短縮されました)

接種方法 集団接種・個別接種・施設接種・巡回接種

接種期間 令和3年12月中旬から令和4年9月末

使用ワクチン 1・2回目に接種したワクチンにかかわらず、ファイザー社または武田/モデルナ社ワクチンを使用します。(当面の間はファイザー社を使用)

集団接種会場 敷島体育館および竜王保健福祉センター等

今後の接種スケジュール(今後、変更する可能性があります)

基準となる2回目接種終了月	3回目接種時期	接種券発送時期
令和3年3～4月	令和3年12月中旬～令和4年1月	令和3年11月下旬
令和3年5月	令和4年1月～2月	令和3年12月
令和3年6月	令和4年2月～3月	令和3年12月
令和3年7月	令和4年3月～4月	令和4年1月
令和3年8月	令和4年4月～5月	令和4年2月

指定管理者が決定

議案第97・98・99号 指定管理者の指定の件

市内、公の施設のうち、次の5施設の指定管理者が決まりました。

施設名	指定管理者	期間
甲斐市コミュニティーホール双葉	梨北農業協同組合	令和4年4月1日～ 令和7年3月31日(3年間)
甲斐市敷島梅の里クラインガルテン	農事組合法人 ゆうのう敷島	令和4年4月1日～ 令和7年3月31日(3年間)
・甲斐市玉幡公園総合屋内プール (Kai・遊・パーク) ・敷島 B&G 海洋センター ・双葉 B&G 海洋センター	株式会社フィッツ	令和4年4月1日～ 令和9年3月31日(5年間)



POINT 指定管理者制度とは

公の施設については、多様化する市民ニーズに、より効果的・効率的に対応するため、従来からの公共団体・公共的団体・地方自治団体の出資法人等に限定されていた施設の管理・運営を、民間事業者も含めた幅広い団体(株式会社などの営利企業、財団法人、NPO法人など)に代行させることで、民間事業者等が有するノウハウを活用し、市民サービスの向上と経費の節減を図ることが、地方自治法の改正により出来るようになりました。

臨時特別給付金で子育て世帯を支援

議案第101号 令和3年度甲斐市一般会計補正予算(第8号)

本市では年収960万円以上の世帯を除き、18歳以下の市民に現金10万円を一括支給することに決定しました。

支給対象人数 約13,330人

(仮称)篠原地区公園用地として 不動産を購入

議案第102号 不動産取得の件

山梨県緑化センター跡地の活用に伴い、都市公園として整備を進めている(仮称)篠原地区公園の用地として、昨年度購入した県緑化センター跡地に隣接する、民有地の購入を決定しました。

- 不動産の所在地…甲斐市篠原字八幡前1番6ほか3筆
- 面積……………3,888.46㎡
- 購入予定価格……1億4,209万2,700円



項目		面積
緑化センター跡地	①北区画	7,545.00㎡
	②中央区画	10,014.22㎡
	③南区画	3,877.46㎡
④今回購入する民有地		3,888.46㎡
購入面積合計		25,325.14㎡

※①～③は、既に山梨県から購入済み

賛成討論

加藤敬徳 議員

県緑化センター跡地は、存続を望む市民の思いに応え、市が取得し、活用していくことが決定されており、今回取得する民有地は、緑化センター跡地に隣接する土地であることから、活用できる面積が広がるばかりか、渋滞する県道甲斐中央線の改良が見込まれるものであります。また不動産購入価格については、不動産鑑定士の鑑定結果に基づいたものであると同時に、専門コンサルタントによる補償費の算定がされたものであり、いずれも外部評価に基づく適正な価格での購入と言えます。

このようなことから、(仮称)篠原地区公園が、市民ワークショップや募集した様々なアイデアを活用し、市民の意見を十分反映させた、みんなに愛される公園となることを期待し、賛成討論とします。

反対討論

谷口和男 議員

本議案は緑化センター跡地に隣接する民有地の購入議案であるが、土地購入と補償費は大きくかわる。建物工作物等補償費は令和2年度予算6,600万円、令和3年度予算は2億円と大幅増で、実際の補償費は1億8,484万円と3倍近い金額だ。納得いく説明もない。

本件は、最終日に追加提案され、議案に目を通すが精一杯で、金額が妥当か吟味する時間もない。反対意見も多い案件なので、議員にも市民にも説明が足りない。

このような手法が続けば、市民のアイデア募集も篠原地区公園の整備に生かされるか不安になる。巷でうわさされる図書館など、ほとんど要望を聞かない、要望の多い子どもの遊び場、木陰のある公園にしてほしい、以上反対討論とする。

代表質問

ここが聞きたい

第4回定例会では、各会派から7人の議員が代表質問を行い、2日間にわたり活発な議論を展開しました。質問と答弁を要約した内容は、次のとおりです。

なお、市議会ホームページで、代表質問の録画映像を配信していますのでご覧ください。

録画映像のQRコードはこちら



甲斐市議会 議会中継

検索

代表質問の詳細な内容については各議員のQRコードからご覧いただけます。

代表質問とは、所属する会派を代表して、執行機関に対し、事務の執行状況や将来に対する方針等について所信を質し、あるいは報告、説明を求め、または、疑問を質すことをいいます。



定例会の様子



子育て支援について

公明党
保坂 芳子

Q ブックスタート事業の18年間の推移、現在の状況は。

A 対象の9割以上の方に本を配布し総数は1万7,000人になる。

Q セカンドブック事業の開始はいつか。

A 「子どもの読み聞かせの黄金期」と言われる、3歳児前の2歳児検診時の配布を考えている。

Q 保育園での園児の使用済み紙オムツの回収・処分をしてはどうか。保育園で園児ごとに分けて保護者が持って帰っていると聞かすが、紙オムツ専用のゴミ箱を設置し業者に回収してもらえないか。保育士の負担軽減になるし、園から紙オムツを持ち帰るのが負担だという保護者からの声もある。コロナ禍で感染のリスクを減らすべきだ。

A 園で紙オムツを廃棄する場合、保管場所の確保や処理費用が課題だが、感染症対策の強化や家庭及び保育士の負担軽減について考慮が必要であり、対応について検討を進めていきたい。

Q 12月以降の冬期間に多い「乳幼児突然死症候群」の原因の7割が「うつぶせ寝」によるとされているが、本市の状況は。

A 「乳幼児突然死症候群」の死亡報告は5年間ゼロだ。各園では、チェック表に基づき、保育士が5分ごとに園児の姿勢や呼吸状況の確認を徹底して対応している。市内には、昼寝中の事故を未然に防ぐため、保育士による確認と並行して、ICTシステムを活用したチェックセンサーを導入している園もある。

Q 厚生労働省は子宮頸ガンワクチン接種の積極的呼びかけを発信した。安心して受けられる体制、受けられなかった人への対応が必要ではないか。本市の現状は。

A 本市の子宮頸ガンワクチン接種数は、令和2年度延べ64人。令和3年10月時点で延べ104人と、大幅に増加している。

Q 今後は接種推奨を周知する必要があるが。

A 市は対象者に必要な情報提供を行い、接種を希望する人が確実に接種できるよう、個人通知の発送に向け、準備を行っている。すでに市ウェブサイトにより周知しているが、今後は、市広報誌も活用し幅広く周知する予定になっている。



ブックスタート事業

その他質問項目

- 令和4年度予算の取り組みについて
- ワイナリーを一大観光拠点に
- 高齢者に生活支援のサービスを
- 「甲斐市子ども基本条例」の制定を



菖蒲沢地区におけるメガソーラー事業

嶺新クラブ
有泉 庸一郎

Q 5事業地の進捗状況は。

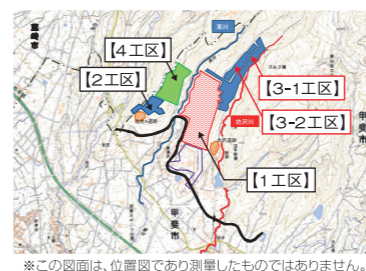
A 1工区については、令和2年4月に山梨県の完了検査を受け、同年5月から商業運転を開始している。残りの4工区については、県によると、2工区及び3-1工区の完成予定は完了期限である令和4年3月としているが、2工区は現在、是正指導中であり、3-1工区は復旧工事計画を承認し工事中とのことである。3-2工区は今月が完成予定であったが、復旧工事のため完成予定は未定とのこと。4工区については、令和4年3月に完成予定である。

Q 5事業の防災対策の現況は。

A 本市が、各発電事業者と締結した環境保全協定に基づき、既に商業運転を開始している1工区には、豪雨等の発生が予想される際に管理会社へ連絡し、事業区域内及び周辺の巡視を要請するとともに、必要な措置を講ずるよう求めている。また、現在、林地開発工事が行われている4つの工区については、林地開発の許可権者である県に連絡し、各事業者へ安全対策を講ずる指導を依頼している。

Q 今後の防災対策に関する県と市の体制は。

A 県が本年7月に制定した、太陽光発電施設に関する条例により、令和4年1月から既設施設の発電事業者に対し維持管理計画の作成が義務付けられ、土砂災害等が発生する恐れがある場合に予定している措置の内容及びその実施体制を公表することも義務付けられている。先般、市長自ら3-1工区の現地確認を行い、安全対策の徹底を申し入れてきたところで、引き続き、各発電事業者と締結した協定に基づき、安全対策に必要な措置を講ずるよう求めるとともに、県と連携し全ての事業者に対し、県条例の基準を遵守した適正な維持管理を求めて行く。また、地元住民で構成される「甲斐市双葉地区メガソーラー対策協議会」及び「菖蒲沢メガソーラー対策協議会」は今後も認識及び情報を共有し、連携して対処して参りたいと考えている。



※この図面は、位置図であり測量したものではありません。
菖蒲沢メガソーラー事業地位置図

その他質問項目

- 機構改革について
- 河川の浚渫について



緑化センター跡地活用 真の情報公開を

日本共産党甲斐市議員団
谷口 和男

Q 令和2年度決算では、財政調整基金が10億円余減少している、緑化センター跡地活用も、できる限り費用を切り詰めるべきではないか。

A 国の交付金、有利な合併特例債を活用し、市の負担を少なくする。

Q 令和2年度決算では、前年より国庫補助金が95億円増えており、国の財源は国債だ。補助金の活用だけでなく、国県市一丸となって、緊急以外は費用を節約すべきではないか。

A 国庫補助金が増えたのは、コロナ対策臨時交付金などで、市は常に経費の縮減を意識した行財政運営に取り組んでいる。

Q 令和3年度予算で緑化センターに隣接する民有地購入費用が、1億3,400万円増額になっている。なぜ増やすのか。

A 令和3年度予算は、新たな事業計画や整備手法等に対応できるように、補償形態や補償内容などを詳細に算定し、計上したものであります。

Q それなら、3月の予算審査の時点で説明すべきだ、単なる概算としか言わなかった。6月議会で、「物件補償算定業務」の結果を尊重するとしていたが、鑑定結果を出していただきたい。

A 用地取得に要する費用に関しては、仮契約が整い次第、市議会に上程する案件であるため、この場での回答は差し控える。

Q (仮称)篠原地区公園の整備案をみると、白紙撤回されたフラワーパーク&ミュージアムとほぼ同じだ、都市公園に、大型観光バス用駐車場を整備する必要があるのか。

A 現時点では駐車場の配置、駐車台数などの規模も決まっておらず、駐車場については、公園の具体的な整備内容に適應する駐車場を計画していくので、ご理解をお願いする。

Q 公園内を県道と同じ幅の9m道路幅にする必要があるのか。暗渠にする側溝部分を歩道にする程度ではないのか。

A 県道甲斐中央線から主要な進入路となる市道整備につきましては、市民バスや小中学校、保育園などの校外活動における大型バスの乗り入れを想定し、関係法令に準拠して整備する。



市民ワークショップの様子

その他質問項目

- いのちと暮らし最優先の政治に
- 気候変動と再生可能エネルギー
- 甲斐市役所はジェンダー平等か





ふるさと納税について

進和会
金丸 寛

Q 通信販売化している、現在のふるさと納税を疑問に思い質問を行う。ふるさとを離れて暮らす人が、ふるさとの役に少しでもなればという思いです。ふるさと納税であり、これは寄付であって、本来、返礼を伴うものではないと思っている。一方、地方間格差や過疎により、税収の減収に悩む自治体に対しての格差是正を推進するものと言われる。返礼品として、各地方の特産物を提供し、地方経済の活性化にも寄与していることは認める所です。しかし、親の世代の格差が広がり、それが7人に1人の割合で、貧困の状態にある子どもにとっても、この制度はそろそろ見直す必要があると思う。住んでいる所へ納税し、その自治体が安心・安全な生活しやすい環境を提供するというのが、本来の納税だと思う。納税意識が住んでいる市町に向けられることにより、身近な行政への関心も深まり、ひいては低下の一途を辿る、各種選挙の投票率の向上にも繋がると思う。

そこで、ふるさと納税制度は国が決めたものだから、市はそれに従うという考えで良いか伺う。

A ふるさと納税制度は、税法に基づき本市に寄付された方が、所得税及び、住民税からそれぞれ控除が受けられる制度であるので、法令に遵守しつつ、寄付者の意思を尊重して、本市の発展に資する取り組みに活用して参りたいと考えている。

Q ふるさと納税をしてくれた人へ、お礼状及び使途の報告はあるのか。

A 寄付していただいた方々には、寄付の受領証明書と併せてお礼状を送付しており、今年度は、新たな試みとして通常のお礼状とは別に、市内公立保育園の園児が書いた手書きのメッセージカードを返礼品と併せて送付を始めたところ。

また、寄付金の使途の報告については、現在、特段報告は行っておりませんが、今後、使途については、市ウェブサイトや市広報誌において公表を検討している。

Q 令和3年度の寄付金の最終予測額は。

A 本年度の最終予測額については、今定例会の補正予算で承認していた10億5,000万円を目標としている。



甲斐市ふるさと応援寄附金ウェブサイト

その他質問項目

- メガソーラーの現状と危険箇所の把握
- 随意契約と入札(一般・指名)による契約
- 市民の安心・安全の確保について



積極的な企業誘致施策を

甲斐市民クラブ
五味 武彦

Q 中部横断道の双葉～新清水JCTが8月に全面開通し、近隣市町で企業誘致政策が加速している。将来に向けて積極的な企業誘致事業が必要で、将来を見据え、一元化した専門部署も必要。企業誘致事業の構想や対応・体制はどうか。

A 法人関係税収を増加させ、雇用や経済効果が増大し、本市の更なる発展のため不可欠な取り組みである。静岡方面への全線開通で、本市は山梨県の中心的立地だけでなく、首都圏・中部圏の交通の結節点として飛躍のチャンス。今後、成長産業をターゲットにした誘致活動やルネサス跡地対策、下今井農工団地の活用など強化を検討する。

Q 双葉地区のバイオマス発電所が再来年末の稼働予定だが、付近は農地・用地が拡がっている。葎崎IC、双葉スマートIC、新山梨環状道路北部区間に繋がる(仮称)甲斐ICに近い。発電所を核に、市による土地造成も含め、用地整備し、農業等も加味した工業団地構想の必要があるが、どうか。

A 現在、発電時に発生する排熱の有効活用を計画しており、立地や将来交通の利便性を考慮した産業集積も研究する。

Q 産業集積とは具体的に。

A 見直業務を進めている「甲斐市都市計画マスタープラン」で、周辺エリアを「ゼロカーボンモデル事業取組拠点」として位置付け、(仮称)甲斐ICを活用し、工業、商業、農業などの土地利用について研究する。

Q 経済産業省の「地域未来投資促進法」で事業を実施する場合、税制、金融の支援や規制の特例措置がある。開発・造成の特例措置を受けるためには、「山梨県基本計画」における重点促進区域の設定が必要だが、本市が入っていないが何故か。

A 区域内農地の地番まで明記する必要があり、新設道路やIC等建設予定地が確定しない場合、事業用地も確定できない。確定後、速やかに本計画の申請を行う。

Q ルネサス甲府事業所跡地利活用、竜王駅北口周辺開発の動向は。

A ルネサス跡地利活用については、国や県、金融機関等と連携し誘致活動を、北口周辺については、駅周辺の立地を活かしたビジネスホテル等の立地が有効と考え、方策を検討している。なお、令和元年以降の企業相談件数は市全体で12件。



下今井農工団地

その他質問項目

- 本市及び甲府市上下水道事業の現状
- 本市と甲府市上下水道使用料の格差
- 甲府市水道局と情報交換や協議の場の必要性
- 御岳古道の事業実績と今後



市制施行17年間の検証・総括、今後について

創政甲斐クラブ
内藤 久歳

Q 保坂市長が3期12年進めてきた「緑と活力あふれるまちづくり」の検証について。

A 本市発展のため知恵を絞り、「緑と活力あふれる生活快適都市」の実現に向け、各分野で目標を設定し取り組んできた。小中学校全校のエアコン設置、産学官連携の「甲斐市版ネウボラ推進事業」の構築、JR中央線竜王・塩崎駅周辺整備、中央自動車双葉SAのスマートIC化、平成27年度には「甲斐市バイオマス産業都市」の認定を受け、今年度から実現に向け取り組みを開始した。最後に私の所見とし、本市は県内でも人口増加傾向で、これらの取り組みにより一定の成果は得られたものと評価している。

Q 「緑と活力あふれるまちづくり」についての総括は。

A 本市の将来像は、総合計画で「緑と活力あふれる生活快適都市」と位置付け、その実現に向けた取り組みを続けてきた。一方、世界的な新型コロナ感染拡大で、生活は大きく変化した。これにより、生活様式などあらゆる行動を時勢に合わせてアップデートする必要があると痛感している。本市発展の重責を預かる身として、今までの実績や経験に甘んずることなく、苦境はチャンスに切り替え、新たなアイデアの創出など、職員一丸となり邁進する。

Q 4期目の恩返しの約束として掲げた5つの「す」のまちづくりの進捗状況は。

A 昨年の市長選で示した5つの公約の進捗状況は、1「コロナに負けない住みやすいまちづくり」は、希望する全ての市民の皆様へのワクチン接種を完了するなど市民の皆様の下支えを行い、2「水害に強いまちづくり」は、災害発生時における広域的な連携を図るため、県外3自治体と「災害時の相互応援に関する協定」を締結した。3「すくすく子育てしやすいまちづくり」は、来年4月からの高校生世代までの医療費窓口無料化に向け、道筋を付けた。4「すこやかに高齢者が安心できるまちづくり」は、中巨摩医師会と管轄区域内の市町で、救急医療体制の見直しについて協議を進めている。5「スマート甲斐市、新しいKAIスタイル、次世代につなぐまちづくり」は、スマートプロジェクト推進課を設置し、デジタル化・スマート化による行政サービスの向上などを行っている。



第2次甲斐市総合計画 後期基本計画

その他質問項目

- 談合による不正入札防止の危機管理体制
- 緑化センター跡地利活用事業の進捗状況
- ふるさと応援寄附金を活用した教育振興資金
- ヤングケアラーの支援について



新政会から提言した政策・施策について

新政会
伊藤 毅

Q 甲斐市全体の基盤整備において、水路について様々な課題を調査してきている、平成30年敷島地区、その後、富竹新田地区、西八幡地区と雨水対策事業として、調査を行い、小規模な工事から着手しているが、それでは抜本的な解決にならない。当時の代表質問で提言している調整池の設置や、調査結果でもっとも雨水対策に有効とされている高岩頭首工の制御など今後の展開を伺う。

A 本市では、ゲリラ豪雨等により浸水被害が発生している、島上条、下今井、富竹新田、西八幡の各地区における雨水対策調査を平成30年度から今年度にかけて実施しており、その結果を基に、これまで水路断面の拡幅等やカルチャーパークを調整池として活用した整備を行ってきた。ご提言にある調整池の設置や高岩頭首工の自動制御化については、調査結果においても、事業規模が大きいものの、その効果も大きいとの見解が示されていることから、現在策定中の「甲斐市国土強靱化地域計画」に位置づけ、今後、活用可能な補助金確保等を検討し、事業化への取り組みを進めて参りたいと考えている。

Q 「甲斐市都市計画マスタープラン」について、現在進めている、木質バイオマス発電事業周辺地域は、バイオマス産業都市構想において重要地域と考える。そして計画が進められている、新山梨環状道路北部区間の完成を見据えた、計画が重要であると考えているが、見解を伺う。

A 新山梨環状道路北部区間の整備に伴うインパクトへの対応のほか、無秩序な都市化の拡大抑制といった計画的な土地利用の誘導が課題と捉えており、本市の重要施策の一つである、木質バイオマスを活用した発電所が整備されることから、新たに整備が計画されている(仮称)甲斐IC周辺エリアを、脱炭素型のまちづくりを目指した「ゼロカーボンモデル事業取組拠点」とした。このエリアにおいては、発電所を中心とした産業施設の集積や、観光客、移住者などの増加につながる都市的土地利用を検討するとともに、県内において先進的な環境にやさしいまちづくりを進めるため、さまざまな分野の産業が融合した、新たな価値を創出する未来都市を目指した拠点としての形成を図っていく。



自動制御化を目指す高岩頭首工

その他質問項目

- 竜王駅周辺の賑わい創出について
- 2050年カーボンニュートラル実現に向けて
- 甲斐市社会福祉協議会との連携強化を
- ビヨンドコロナの甲斐市に向けて



一般質問

ここが聞きたい

第4回定例会では、4人の議員が一般質問を行い、活発な議論を展開しました。質問と答弁を要約した内容は、次のとおりです。

なお、市議会ホームページで、一般質問の録画映像を配信していますのでご覧ください。

録画映像のQRコードはこちら



甲斐市議会 議会中継

検索

一般質問の詳細な内容については各議員のQRコードからご覧いただけます。

一般質問とは、行政全般にわたり、議員個人が執行機関に対し、事務の執行状況や将来に対する方針等について所信を質し、あるいは報告、説明を求め、または、疑問を質すことをいいます。



緊急一時避難場所の法面の運用について

加藤 敬徳

Q 緊急一時避難場所として定めてある高速法面だが、運用についての規定はどのようにしているか。

A 避難指示等が出た場合に自治会役員は、法面入口扉を開錠した後、指定避難所等へ水平避難してもらい、法面は逃げ遅れた方や通行中の車両などが水没した場合の最終避難手段としての利用を想定している。運用については、令和元年12月に、関係自治会役員立会いのもと、現地において入口扉の鍵を渡し、鍵の開閉方法や草刈りなどの管理面についてご説明したが、特に規定は定めていない。今後も、自治会と協議し運用方法などについて準備を進めていきたいと考えている。

Q この緊急時避難場所は、逃げ遅れた場合の最後の避難場所として使うことが考えられるが、現状では、避難場所として使

る状態ではない。きちんとした運用規定を作成し、これをもって避難場所として使える状態に整備できるよう、ネクスコ中日本と話し合おうと思うが、見解を伺う。

A 協議の当初から、高速道路の安全確保を最優先に考え、できる範囲での協力をお願いしていることから、構造物などの設置は難しい。今後は、関係する自治会等と協議を深め、利用形態などの周知を図っていきたく考えている。



高速法面の洪水時一時避難場所

その他質問項目

- コロナが落ち着いている今について
- 防災備品の配備体制と訓練



聴覚障がい者に対する福祉施策を伺う

滝川 美幸

Q 聴覚障がい者が手話言語を獲得し手話言語で学び、手話言語を自由に使える等の環境整備のために、甲斐市手話言語条例の制定が必要と思う。

A 手話は言語であることを市民の皆様にご認識いただき聴覚障がい者の方々が安心して日常生活を過ごすことができる共生社会の実現に寄与するものと認識している。県内市町村の動向を調査しながら制定について研究する。

Q 甲斐市職員定数の中に手話通訳士を社会福祉士と同等な専門職として位置付ける事により、障がい者に対する支援が安定し継続性の高い支援となるのではないかと。

A 現在2人の会計年度任用職員が交代で勤務し支援している。社会福祉士については、法令等により人員配置基準が示されており、正規職員として採用しているもので、手話通訳者とは職員配置の考え方が異なる。ご理解いただきたい。

Q 予想の出来ない災害や事件の発生時に、目に見える情報は聴覚障がい者だけでなく高齢者も安心して情報が得られます。公共施設に聴覚障がい者用情報受信装置の設置をお願いしたい。

A 聴覚障がい者用情報受信装置の必要性は承知している。公共施設へ設置する効果も含め、今後装置の普及状況を踏まえ判断する。

その他質問項目

- 保育士の昼休みの確保について
- 園児と接しない休憩時間の確保について
- 政府の賃金引上げ対策を受け本市の対策は
- 会計年度任用職員の給与状況は



あなたの支援が必要です ヘルプカードを作成しました



甲斐市ヘルプカード



子育て支援の充実を

松井 豊

Q 相対的貧困率15.4%に対し、小中学校の就学援助奨励費は10.7%（2021）で240人不足している。この原因は何か。また、当面、貧困世帯まで支援を拡大すべきだが。

A 国で公表している相対的貧困率は、所得の中央値を下回る世帯の割合なのに対し、就学援助率は国の基準に則り市民税非課税世帯や児童扶養手当受給世帯の他、扶養する子どもの数などを勘案し、就学援助の認定を行っているため。

Q 子どもの貧困問題が深刻になる中で、教育に係る私費負担「隠れ教育費」が家計を圧迫している。ある調査では、ジャージ等が3万円、ブレザー・ベスト等が8万円（女子は9万円）となっている。市の状況はどうか。

A 中学生の制服は、夏冬上下で男子は約4万円、女子は約5万5千円程度、通学カバン、体育着などは合計3万円程度となっている。市では、要保護・準要保護家庭に中学入学準備費用の他、学用品費を支給している。

Q コロナ禍で、生理用品までお金が回らず、交換できないでトイレットペーパーで代用するなどの例がある。まず、小中学校への生理用品の無償提供をすべきだが。

A 保健室に生理用品を備えているが、試験的に実施している市町の状況を参考に検討していく。



その他質問項目

- 保育園におけるオムツ持ち帰りについて
- 釜無川の防災・減災に係る国県市の対応は
- 市山間部の山地災害の危険箇所とその対策は
- 道路標示（白線等）の補修状況と件数は



狭あい道路について

秋山 照雄

Q 幅員4m未満の狭あい道路について、救急消防活動や安全で快適な住宅市街地形成のためにも積極的に解消を進めていく必要があるが、市の考えは。

A 安全で良好な環境形成の上で、生活道路の整備が着実に推進できるよう解消に向けた、取り組みが必要であると考えております。

Q 解消を進めるため要綱制定についての考えは。

A 県内の先行事例や効果を見極め、検討に着手していく。

Q 国の補助金を活用して事業実施をしたらどうか。

A 事業解消に繋がる有効な財源確保であるため、活用した事業の実施に向け取り組んでいく。

Q 市内で幅員4m未満の道路はどの程度あるのか。

A 市内の市道認定44万469mのうち、19.6%にあたる8万6,375mある。

Q 狭あい道路等について、消防、警察等と情報連携は。

A 交通制限措置等も併せて情報の共有を図っている。

Q 事業解消は、空き家、移住定住等、様々な問題にも関連するため、地域選定をしてでも事業導入を。

A 地域を絞ることにより、歳出抑制等の効果が期待できる反面、土地所有者の理解や地域の合意形成が課題と考えられることから、慎重に検討していきたい。



市内の狭あい道路

その他質問項目

- 年間の建築確認申請件数と道路後退件数は
- 平成31年度以降の道路拡幅整備件数は
- 交通安全対策を目的とした道路拡幅件数は



タブレット端末の活用が始まりました

令和3年第4回定例会から、デジタル化を推進することを目的に、タブレット端末を導入しました。

タブレット端末の導入によって、従来の紙資料をデータ化し、ペーパーレス化を図るとともに、議会・議員のスケジュールを一括管理し、全議員が情報共有を図れるなど、効率的に議会・議員活動で活用しています。

※なお当面の間、紙資料と併用していきます。



研修会の様子



本会議の様子

令和4年度当初予算の要望書を市長へ提出



決算審査特別委員会(金丸幸司委員長、加藤敬徳副委員長)では、議会改革の取り組みの一環として、各常任委員会から提出された意見を踏まえ、次の事業について、新年度当初予算に反映されるよう、11月12日に市長へ「令和4年度予算編成に向けての要望書」の提出を行いました。

右から、山本議長、清水副議長、金丸委員長、加藤副委員長

総務教育常任委員会／遠距離通学定期券購入費補助の継続について

本事業は、鉄道利用者を増加させ県外への人口流出抑制を目的に、平成29年度から山梨県と連携し行っている事業であるが、令和3年度末で補助対象期間が終了し、現時点で令和4年度以降の事業の継続については未定となっている。

しかし、コロナ禍による親の負担を少しでも軽減させるために、多くの高校生がこの制度を利用し、自宅から県外の大学へ通学することを目標に今現在、勉強に励んでいると伺っており、この事業は高校生自身の将来設計や大学進学に向けた目標指針となっている。

このような状況を鑑み、本市の将来を担う高校生が自分の進路をあきらめなくても良いようにサポートが必要と考え、令和4年度以降も山梨県が事業の継続を行わなくても、本市独自事業として継続させることを強く要望する。

厚生環境常任委員会／市社会福祉協議会への助成事業費の増額について

甲斐市社会福祉協議会は、地域福祉向上のため、本市にとって重要な役割を担っている。

新型コロナウイルスの影響が長引く中、経済的に生活が困窮している方や障がいのある方、また、高齢者の方などからの相談件数は増加傾向にあり、今後さらに、甲斐市社会福祉協議会の役割は多様化し重要性を求められることから、人件費や相談業務に係る経費などを充実させ、人材の育成や確保、また、相談支援体制等のさらなる整備を図ることが必要であると思われる。

今後の地域づくりの未来像である、地域の支え合い活動の重要な担い手でもあり、地域福祉の向上に向け様々な活動を行っている甲斐市社会福祉協議会への助成事業費の増額を要望する。

建設経済常任委員会／河川改修事業について

近年、集中豪雨や台風などにより、短時間で大雨が降り浸水等の被害が全国的に多く見受けられる。

市としても、西八幡地区や富竹新田地区での雨水対策事業として調査を行ってはいるが、なかなか調査結果を基に、次の段階へ進展していない。令和2年度決算でも、水路改修等の規模が小さいものから手を付けていくとあったが、それでは根本的な解決にはならない。

頭首工の制御など大きな対策を講じるとともに、併せて、市街化区域及び市街化調整区域内における老朽化した水路の改修、水路拡幅に伴う用地買収等も含め、下流から段階的に進めていく必要がある。

災害防止という観点からも、下流に住む市民が少しでも安心した生活が送れるよう、計画的な事業実施のため、更なる予算措置を要望する。

各種団体と意見交換会を開催

議会改革の取り組みの一環として、平成21年度から各種団体の課題や現状、また、今後の取り組みや市への要望など把握し、市当局への提言および政策形成を行うため、各常任委員会と各種団体において、意見交換会を実施しています。

総務教育常任委員会 11月24日／市PTA連絡協議会

市内小中学校のPTA役員の皆さんに出席していただき、「コロナ禍におけるPTA活動」や「各小中学校のコロナ禍における活動や保護者として苦勞している点」、また、市に対しての要望など活発な意見交換を行いました。



厚生環境常任委員会 12月3日／市ボランティア協議会

正副会長および役員をはじめ委員の皆さんに出席していただき、「甲斐市ボランティア協議会の現状と今後の取り組み」、また、市に対しての要望など活発な意見交換を行いました。

建設経済常任委員会 11月30日／市農業委員会

正副会長をはじめ運営委員の皆さんに出席していただき、「地域農業の現状と課題」や「農業が抱える諸問題」、また、市に対しての要望など活発な意見交換を行いました。



山梨クイーンビーズを応援します

甲斐市議会では地元プロバスケットボールチームの山梨クイーンビーズを応援するため、令和3年度から法人会員に入会しました。

2021-2022 2月以降のゲームスケジュール

2/19(土) 15:30	三菱電機	甲府市総合市民会館(山梨県)
2/20(日) 15:30	三菱電機	甲府市総合市民会館(山梨県)
2/26(土) 15:30	デンソー	ウイングアリーナ刈谷(愛知県)
2/27(日) 15:30	デンソー	ウイングアリーナ刈谷(愛知県)



特集『輝く仲間たち』への掲載記事募集中

市内で活動している方(団体)であれば、年齢・性別・職種等を問わず、活動内容を掲載することが可能です。

詳しくは、市議会ホームページまたは、議会事務局まで問い合わせください。

甲斐市議会事務局 庶務・議事係
TEL 055(278)1673



甲斐市議会だよりNo.69

議会を傍聴してみませんか!

手続きは簡単です。本会議および委員会の当日、傍聴人名簿に氏名・住所・年齢を記入していただくだけです。議会を傍聴することは市政を知る良い機会ですので、ぜひお越しください。

なお、現在は、新型コロナウイルス感染症対策のため、傍聴制限をかけることもありますので、ご確認ください。

令和4年 第1回定例会 の日程(予定)

※日程等に変更がある場合
もあります。

※傍聴に際し、手話通訳が
必要な方は、障がい者支
援課へお申込みください。

TEL.055-267-7287
FAX.055-276-2113
メール:kai-shuwa@i.softbank.jp

日	月	火	水	木	金	土
2/20	21	22	23	24 本会議 (一般質問) 10:00~	25 本会議 (一般質問) 10:00~	26
27	28 本会議 (一般質問) 10:00~	3/1 厚生環境常任委員会9:30~ 建設経済常任委員会13:30~	2 総務教育常任 委員会 9:30~	3 委員会 予備日	4 本会議 (採決等) 10:00~	5
6	7 予算審査 特別委員会 9:30~	8 予算審査 特別委員会 9:30~	9 予算審査 特別委員会 9:30~	10	11 予算審査 特別委員会 9:30~	12
13	14 予算審査 特別委員会 9:30~	15 委員会 予備日	16 本会議 (採決等) 14:00~	17	18	19

農業体験による障がい者の社会参加をめざして NPO法人甲斐志麻の里ファーム

就労移行支援事業所
就労継続支援B型事業所

地域活動支援センターかいしま

ブドウ各種・小梅・枯露柿・原木しいたけ、受託(農福連携)作業・
古紙回収・トイレトペーパー販売など…



住 所 甲斐市島上条1277-1
電話・fax 055-288-1241
携 帯 090-2623-6309

有料
広告

引越しのお手伝い致します

不用品の買取・回収・販売

★ゴミの片付け・遺品整理も致します。

リサイクル 登美の坂

甲斐市龍地 88-1 (年中無休)
☎ 0551-28-6262

出張回収にも伺います!お気軽にお電話ください。

議会広報常任委員会

委員 長 滝川 美 幸	委 員 加藤 敬 徳
副委員 長 谷口 和 男	委 員 小澤 重 則
委 員 伊藤 毅	委 員 長谷部 集

この有料広告に関する掲載基準や申込書などは、市議会HPに掲載しています。(1枠につき1回2万円)

甲斐市議会のQRコードはこちら▶

